

平成20年度第2回中仙地域協議会 会議録

1 開会の日時及び場所

- ・日時 平成20年7月22日(火)午後2時～午後4時5分
- ・場所 大仙市中仙庁舎 第21会議室

2 出席した委員等の氏名

- ・出席委員 金子美喜男委員 木元洋子委員 熊谷秀夫委員 古村貞夫委員
佐藤昭男委員 高貝昇太郎委員 高橋 修委員 高橋亮光委員
傳農富士夫委員 長谷山祥子委員 藤田貞子委員

以上11名

(欠席 秋山 康委員 佐藤育男委員 鈴木恭子委員 高橋國文委員
高橋尊雄委員 高橋辰美委員 平瀬一浩委員)

- ・市職員(中仙総合支所)

中仙総合支所長 鈴木雅幸 地域振興課長 田口義則
地域振興課参事 佐々木孝雄 地域振興課主幹 田口祥吾

以上4名

- ・市職員(都市計画課)

参事 小松春一 主任 佐藤正規

3 次第

【開会】

会長が開会を宣言

【会議の成立】

事務局から出席委員11名、欠席委員7名で2分の1以上の出席があり、協議会が成立することを報告。

【会長あいさつ】

- ・今日は公私ともにご多忙のところ会議に出席いただきましてありがとうございます。今年には空梅雨で終わるのじゃないかと思っていたところ急に梅雨に入りまして、そしてあっという間に7月というようなことで、これも地球温暖化の一つかなと思っていた昨今です。今日は議題といたしまして、大仙市都市計画マスタープランの策定ということでございますが、実はこの策定委員に私もなっております、過去2回ほど会議を行っております。出席して見ますと前に田中角栄さんの日本列島改造論というのがあった訳ですが、その大仙市版というようなものでありまして、今に説明があるかと思いますが、大々的な計画のようであります。あくまでも計画でございまして実効性については疑問視されるわけですが、このあと説明がありまして、その後皆様

から意見を願うすることになりますのでよろしくお願いいたします。今日のメンバーは11人ということですが、出席した皆さんから忌憚のない意見を願ういたしまして会を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【議事】

(1) 会議録署名委員の指名

会長が木元洋子委員、高橋修委員の2名を指名。異議なしと認め了承する。

(2) 大仙市都市計画マスタープラン策定の協力依頼について

- ・ 傳農会長…それでは(2)大仙市都市計画マスタープラン策定の協力依頼について議題とします。都市計画課から説明をお願いします。
- ・ 都市計画課参事…都市計画課の小松と申します。本日はよろしくお願いいたします。私からは具体的な説明に入らせていただく前に、都市計画マスタープランのさわりと今後のお願いを兼ねまして一言ご挨拶申し上げたいと思います。今日は協議会の前に貴重な時間を割いていただきありがとうございます。また、日頃から地域協議会の皆様には、建設行政に特段のご理解とご協力を賜りまして重ねてお礼申し上げます。大仙市都市計画マスタープラン策定の主旨につきましては、平成17年3月22日に8市町村が合併いたしました大仙市が誕生したわけですが、合併を契機に新しい市の基本方針を定める上位計画となる大仙市総合計画の策定をしております。そうした策定の中で、地方都市を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。このような厳しい社会経済情勢にありまして、都市計画等に関する制度も大幅な改正、拡充が求められ、且つ進められているという状況です。こうした中で都市計画マスタープランは、市町村が長期的な視点に立って、おおむね20年後を目指すことになっておりますが、長期的視点に立って目指すべき都市の将来像の実現に向けて方向性を出すもので、大仙市の具体的、総合的なまちづくり、地域づくりを行うための総括的な支援を定めるもので、このようなことから新たな都市計画マスタープランを策定するものであります。各地域及びそれぞれの特性を活かした地域別構想を作り上げるため、地域別懇談会を設置するものであります。当地域の地域協議会の皆様にはこのあと予定している地域懇談会等に参加していただきながらご協力くださるようお願いいたします。詳細については、担当の佐藤主任の方から申し上げますけれどもよろしくお願いいたします。
- ・ 都市計画課主任…自己紹介の後、市町村の都市計画に関する基本的な方針である都市計画マスタープランを平成19年度から20年度にかけて2カ年で策定すること、また現在策定作業中であることを述べ、その後資料に基づき、大仙市都市計画マスタープランの基本的な考え方、大仙市の都市づくりの課題、大仙市における都市づくりの目標、大仙市の将来像、全体構想、昨年度の作業部会・幹事会・委員会の経過報告、平成20年度の進め方、主な検討テーマ等について説明。
- ・ 傳農会長…説明が終わりましたのでご質問ご意見を願います。地域協議会への説明で中仙は何番目になりますか。また、他の地域協議会で出た質問や意見で紹介できるものがあればお教え願います。
- ・ 都市計画課参事…組合病院はどうなるのか、大曲のことだけでないかとかありました。この計画は大目標みたいな感じでピンとこないと思いますが、各地域がお互いに発展

していこうというものでございますので、堅苦しく考えないで忌憚のないご意見をお願いします。

- ・ 傳農会長…学校の統廃合はどのようになりますか。
- ・ 都市計画課参事…教育委員会が担当することになるとと思いますが、話ができれば連携してやっていくことになると思います。
- ・ 都市計画課主任…統廃合でどこに建てるかという問題になったときは、コンパクトシティということで、郊外には出来ないことになります。
- ・ 佐藤昭男委員…大仙市のマスタープランがいよいよ実行の段階となる頃には、道州制の問題が出てくると思いますが、これを見据えた計画ですか。
- ・ 都市計画課主任…道州制のこともありますが、コンパクトシティということで小さなまとまりの中のまちづくりということは、国の施策でもあります。郊外への拡散で街中が空洞化とならないよう賑わいを取り戻し、高齢化社会に備えるという方針で、道州制となればそれにかなうよう持って行くことと思います
- ・ 金子美喜男委員…地域協議会、総合支所などを主体とする地域別懇談会を開催しますと有りますが、地域振興計画というのは中仙地域の中の振興計画か、都市計画マスタープランの中で計画を立てて地域に落とすのかどうでしょうか。
- ・ 都市計画課主任…地域別構想を作るという段階で、事務局だけで全部地域の実情を把握しているわけではありませんので、まず地域の実情を知りたいと、どういった課題があって、どういう問題があるかを吸い上げたいというもので、地域振興計画という箱は今でいえば地域協議会か地域懇談会と読み替えても良いですが、そこで出される意見を地域別構想に反映させるための手段にしたいという考え方です。
- ・ 傳農会長…生産年齢人口の半減と高齢化率の上昇とありますが、このことによる財源状況をどう見ているのでしょうか。
- ・ 都市計画課参事…非常に厳しいと思います。大きなプロジェクトは難しくなり、ソフト事業を中心としたものになると思います。
- ・ 藤田貞子委員…このマスタープランの啓発はどのようにしてやるつもりでしょうか。
- ・ 都市計画課参事…地域別懇談会、シンポジウムを行い、広報やネット等で情報を流したいと思っております。
- ・ 藤田貞子委員…何回も地域座談会をやったほうが良いと思います。間違いのない方法で指導くださるようお願いいたします。
- ・ 傳農会長…他にございませんか。(声無し) 無いようですので、大仙市都市計画マスタープランについてはこれで終わります。なお都市計画課の皆さんはこれで退席となります。ここで10分間休憩します。(休憩午後3時3分～午後3時13分)

(3) 大仙市公共交通について

- ・ 傳農会長…それでは会議を再開します。(3) 大仙市公共交通についてを議題とします。説明願います。
- ・ 地域振興課長…大仙市の公共交通につきましては、今年の2月16日号の広報に詳しく掲載されておりますが、これまで地域公共交通の主軸としておりました路線バスの一部廃止を受けまして、大仙市ではこの4月から交通空白地域の解消に向け地域公共交通計画を作成したところでありまして、予約型の乗合タクシーを立ち上げまして神

岡、西仙、南外、仙北、大曲の内小友や松倉地域で実証運行しているところであります。そしてこの利用料金は、1回につき500円ということで統一されております。このような中で当中仙地域では旧中仙町時代から乗合自動車利用助成金交付要綱が制定されまして、当初100円、その後200円を超える部分については町で助成し、合併後もこれを励行してまいりました。このように現在他の地域と中仙地域では利用料金の個人負担分に差があることから、市では早期に利用料金の平準化を図らなければならないとしており、この計画の中で見直しによる統一ルールを作りまして、バスの利用者負担は200円、乗合タクシー利用者負担は500円ということにしております。これを受けまして中仙地域における利用料金につきましては、激変緩和という観点から一気に500円に上げるのではなくて、今年度は200円に据え置き、21年度には400円を超える部分、更に22年度には500円を超える部分を助成することとしまして、他の地域との平準化を図りたいということで進んでおります。このことに関しましては、今後利用者に対しまして説明会の開催やら色々な広報関係でご理解を賜りたいと考えているところでございますが、今日の議題として提出させていただいたのは、この地域公共交通計画がこのようなかたちで進んでいることと、今後当地域といたしまして、皆様のご意見を賜りながらこの意見を今後のあり方等に反映させてまいりたいということでありますのでよろしくお願い申し上げます。

- ・ 傳農会長…説明が終わりましたのでご質問、ご意見を賜ります。
- ・ 金子美喜男委員…去年の助成額はいくらぐらいですか。
- ・ 地域振興課長…平成19年度の利用実績ですが、助成金が909万200円、利用者が5路線で15,683人、18年度比較で28人増となっております。
- ・ 金子美喜男委員…利用料金が500円になれば年間助成額はいくらになりますか。
- ・ 地域振興課参事…600万円ぐらいになると思います。
- ・ 高橋亮光委員…500円になったときは、住民に対する説明を充分に行ってください。
- ・ 地域振興課参事…分かりました。
- ・ 傳農会長…他にございませんか。(声無し)無いようなので大仙市公共交通についてはこれで終わります。次にその他に入りますが何かございませんか。
- ・ 地域振興課長…地域枠予算事業で講演会を行う予定となっておりますが、講師について委員の中で案があれば伺いたいと思いますがいかがでしょうか。(委員の中から会長と事務局に一任という声あり)
- ・ 傳農会長…会長と事務局に一任という声がありますが、よろしいですか。(異議無しの声あり)それでは事務局と共に検討することとします。他に何かありませんか。(声無し)無いようですので、これをもちまして本日の議題の審議を終了します。

【閉会】

会長が閉会を宣言

署名

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規程により会議の次第を記載しこれに相違ないことを証明するためここに署名する。

平成20年7月22日

会議録署名委員

議長

委員

委員